

オリンピックを目指す  
青少年に助成金を

**Q** 優秀、将来性のあるスポーツ選手への支援策は。

**A** オリンピック・パラリンピックを目指すスポーツ選手に対して、香取市東京オリンピックジュニア特別強化指定選手補助金制度で、トップアスリートの育成を支援しています。対象は、千葉県競技力向上推進本部が指定する強化選手で、選手個人に対して大会、合宿、競技用具の整備など、対象経費の2分の1以内、20万円を上限に助成します。

**Q** 香取市出身で市外に住所のある選手は対象になるのか。

**A** 本市出身で、千葉県競技力向上推進本部の特別強化指定選手に指定された場合は補助の対象です。

**Q** 県内はもとより、全国で活躍している香取市出身の選手を紹介できないか。

**A** 香取市教育委員会表彰制度に基づき表彰し、広報紙等で掲載・紹介しています。市外に住所がある本市出身の優秀選手



おくむら まさあき  
奥村 雅昭 議員

手についても、さらに情報を収集し、積極的に紹介していきます。

スクールバスの  
有効利用を考えよ

**Q** 小・中学校の部活動で児童・生徒が大会等へ出場する際、公用車等を利用することは可能か。

**A** 大会への出場を目的とした市民バス等の提供は行っていません。小・中学校の教育活動として、学校が大会等に選手を派遣する場合は、対象経費の2分の1以内で、助成金を交付する制度があります。

**Q** 小・中学校の部活動やサッカー、野球のリトルリーグ、リトルシニア等のクラブチームが各種大会に出場する際、スクールバスを利用できないか。

**A** スクールバスは、文部科学省の規定で、登下校以外の使用は学校の教育活動に限られています。スクールバスの利用時間



さかもと ようこ  
坂本 洋子 議員

神崎町が実施しています。市の調査では、平成30年4月以降、芝山町、多古町、東庄町が新たに実施しています。

**Q** 義務教育無償の原則の一環として学校給食の無償化の考えは。

**A** 無償化には年間2億7千万円の新たな支出が見込まれます。財源の確保が大変難しい現状のため、国の支援策などの動向を注視するとともに、現在行っている就学援助制度の普及により、経済的に援助が必要な人を積極的に支援していきます。

地域医療連携会議の  
在り方と方向性は

**Q** 香取海浜地域を中心とする自治体の長や病院長による地域医療連携会議の在り方と県立佐原病院の関わりは。

**A** 地域医療連携会議は、市の呼びかけによる任意の会議という位置付けです。香取地域の中核病院である県立佐原病院は、

以外も多くの時間を学校の教育活動に使用しているため、余裕がないのが現状です。

**Q** 現在12台のスクールバスが運行中で、今後、さらに山田地区小学校統合により、13台購入する。台数の大幅な増加が見込まれていることをどう考えているか。

**A** 香取市地域公共交通検討委員会、スクールバスの活用も含め、公共交通の在り方を検討しています。



佐原中学校では3台のスクールバスが運行されている

他の病院と同様に医師不足により、急性期医療や救急医療体制の確保が課題のため、周辺医療機関との連携強化が必要とのことでした。

**Q** 連携会議の今後の方向性は。また、国の進める地域医療連携推進法人との関係は。

**A** 9病院で部会を設置し、検討結果を地域医療連携会議で協議することになりました。国が示している地域医療連携推進法人とは直接関係はありません。

**Q** ごみ減量に欠かせない資源化率向上の推進状況と今後の施策は。ごみ袋代引き下げの方向性は。

**A** 平成29年4月から、プラスチック製容器包装の分別収集を開始し、平成30年4月からは収集回数も隔週から毎週に増やしたことで、資源化率も少しずつ向上しています。今後も市民の皆さんの排出抑制と分別徹底などの協力をいただきながら、ごみ袋値下げに向けて取り組んでいきます。

**Q** 防災行政用無線の戸別受信機を必要の人には無料で貸与すべき。

**A** 戸別受信機は、ほとんどが個人負担での購入であるため、公平性の観点から無料貸与は難しいと考えます。



美味しい給食は子どもたちの元気の源 (八都小学校)

**Q** 全国や県で急速に広がる学校給食の無償化は少子化対策として有効な施策と思うが、実施している近隣自治体は。

**A** 平成29年度文部科学省の調査では、全国の4.7%の自治体が小・中学校両方、または小学校のみ、中学校のみで実施しています。同調査で県内では、大多喜町と

近隣自治体で進む  
「給食費無償化」の実現を